

丹生川上園地（公衆トイレ）改修工事

令和8年 3月

株式会社 ワールド設計

図面リスト

	表紙
A-	1 図面リスト
	2 建築工事特記仕様書 1
	3 建築工事特記仕様書 2
	4 建築工事特記仕様書 3
	5 建築工事特記仕様書 4
	6 建築工事特記仕様書 5
	7 建築工事特記仕様書 6
	8 付近見取図・配置図・平面図
	9 現況・改修 仕上げ表
	10 現況 平面詳細図
	11 改修 平面詳細図
	12 現況 立面図
	13 改修 立面図
	14 現況 断面詳細図
	15 改修 断面詳細図
	16 現況 展開図 1
	17 現況 展開図 2
	18 改修 展開図 1
	19 改修 展開図 2
	20 改修 基礎図
	21 改修 土台・基礎伏図
	22 改修 建具表
	23 改修 部分詳細図
	24 仮設計画図（参考図）

E-	1 改修 電気設備工事特記仕様書 1
	2 改修 電気設備工事特記仕様書 2
	3 改修 電気設備工事特記仕様書 3
	4 改修 幹線設備図
	5 改修 電灯設備図
	6 改修 コンセント設備図
	7 改修 誘導支援設備図
	8 現況 電気設備 撤去図

M-	〇 機械設備 特記仕様書 1
	1 機械設備 特記仕様書 2
	2 機械設備 特記仕様書 3
	3 機械設備 特記仕様書 4
	4 機械設備 特記仕様書 5
	5 衛生器具リスト（撤去・改修）
	6 給排水設備 平面詳細図（撤去）
	7 給排水設備 平面詳細図（改修）

③

防水改修工事

項目特記事項

4 アスファルト防水

[表3. 1. 1][3. 3. 3][表3. 3. 3～表3. 3. 10]

防水改修工法の種類
屋根保護防水・P1B工法・B-1 ※B-2
・P1B1工法・B1-1 ※B1-2
・P2A1工法・A1-1 ※A1-2・A1-3
・P2A工法・A-1 ※A-2・A-3
屋根露出防水・M4C工法・C-1 ※C-2
・C-3・C-4
・M3D工法・P0D工法・D-1 ※D-2
屋根露出防水・P0D1工法・M3D1工法・D1-1 ※D1-2
絶縁断熱工法・M4D1工法
屋内防水・P1E工法・P2E工法・E-1 ※E-2
・E-1の工程3を行う部位（※貯水槽、浴槽等常時水に接する部位）
部分粘着層付改質7アフルーフing及び改質7アフルーフingシートの種別及び厚さ [3. 3. 2]

	種別	厚さ(mm)
・部分粘着層付改質アスファルトルーフィング	※非露出複層防水用R種	※1.5mm以上
・改質アスファルトルーフィングシート	※非露出複層防水用R種	※1.5mm以上

押さえ金物の材質、形状寸法 [3. 3. 2]※アルミニウム製、L＝30×15×2.0程度
断熱材（屋根保護防水断熱工法） [3. 3. 2]種類 ※JIS A 9521に基づく押出法*リシランフォーム断熱材3種bA(スチ層付き)厚さ(mm) ・
断熱材（屋根露出防水断熱工法） [3. 3. 2]種類 ・JIS A 9521に基づく発泡プラスチック断熱材・硬質ウレタンフォーム断熱材2種1号又は2号(透湿係数を除く JIS A 9521 の規格に準ずるもの)
絶縁シートに使用する材料 [3. 3. 2]※ポリエチレンフィルム厚さ0.15mm以上又はフラットヤーンクロス（70 g/m²程度）（屋根保護防水密着工法及び屋根保護防水絶縁工法の場合）
・フラットヤーンクロス（70 g/m²程度）（屋根保護防水密着断熱工法及び屋根保護防水絶縁断熱工法の場合）
保護コンクリート [3. 3. 2][3. 3. 5]厚さ ※改修標準仕様書3. 3. 5(4) (イ)による ・設計基準強度（N/mm²） ※18 ・スランプ（cm） ※15又は18 ・
床面の仕上りの平たんさ [3. 3. 5]※改修標準仕様書表8. 1. 5による
種類 ・a種 ・b種 ・c種
立上がり部の保護の方法 [3. 3. 2、3. 3. 3][3. 3. 5][表3. 3. 3～表3. 3. 10]・乾式保護材（材料 ・）
・コンクリート押え
・モルタル押え（屋内等）
・れんが押え（れんがの種類 ※JIS R 1250 ・）

既存下地の補修箇所 形状 ・ [3. 2. 6]長さ ・数量 ・

既存露出防水層表面の仕上げ塗装(M4AS、M4ASI、M4C、M4DI工法の場合) ・除去する [3. 2. 6]
P1E工法、P2E工法の保護層 ・設ける [3. 3. 3]
M4C工法、M3D工法、P0D工法、P0DI工法、M3DI工法、M4DI工法の仕上げ塗料塗り ・有り 種類（ ） [3. 3. 3]使用量（※製造所の仕様による ・）
立上り部への断熱材及び絶縁用シートの設置（P1BI工法、P2AI工法の場合） ・設置する ・設置しない

5 改質アスファルトシート防水

[表3. 1. 1][3. 4. 3][表3. 4. 1～表3. 4. 3]

防水層の種類
防水改修工法の種類
屋根露出防水・M4AS工法・AS-T1・AS-J2
密着工法・AS-T2
屋根露出防水・M3AS工法・AS-T3・AS-J1
絶縁工法・P0AS工法・AS-T4・AS-J3
屋根露出防水・M3ASI工法・ASI-T1
絶縁断熱工法・M4ASI工法・ASI-J1
・P0ASI工法
改質アスファルトシート [3. 4. 2]種類・厚さ ※改修標準仕様書表3. 4. 1から表3. 4. 3までによる ・部分粘着層付改質アスファルトシート種類・厚さ ※改修標準仕様書表3. 4. 3から表3. 4. 1までによる ・断熱材（屋根露出防水絶縁断熱工法） [3. 4. 2]種類 ・JIS A 9521に基づく発泡プラスチック断熱材・硬質ウレタンフォーム断熱材2種1号又は2号(透湿係数を除く JIS A 9521 の規格に準ずるもの)厚さ(mm) ・

防湿層(屋根露出防水絶縁断熱工法) ・設置する [3. 4. 3][表3. 4. 3]ASI-J1工法、AS-T1工法、AS-T2工法、AS-J2工法の仕上げ塗料塗り ・有り 種類（ ） [3. 4. 3]使用量（※製造所の仕様による ・）
押さえ金物の材質、形状及び寸法 ※アルミニウム製 L＝30×15×2.0 (mm) 程度 ・

6 合成高分子系ルーフィングシート防水

7 塗膜防水

⑧ シーリング

9 とい

防水層の種類[表3. 1. 1][3. 5. 3][表3. 5. 1～表3. 5. 3]

防水改修工法の種類
新規防水層の種類
施工箇所
厚さ(mm)
・P0S工法・S-F1・S-M1
・S4S工法・S-F2・S-M2
・S-M3
・P0SI工法・SI-F1・SI-M1
・S4SI工法・SI-F2・SI-M2
・S3S工法・S-F1・S-F2
・S3SI工法・SI-F1・SI-F2
・M4S工法・S-M1・S-M2
・M4SI工法・SI-M1・SI-M2
・PIS工法・S-C1
P0S工法及びP0SI工法(機械的固定工法)の既存保護防水層を撤去し、防水層を非撤去とした立ち上がり部等の補修、措置 [3. 2. 6]※改修標準仕様書3. 2. 6(4) (g) とする
・
断熱材（接着工法） [3. 5. 2]種類 ※改修標準仕様書3. 5. 2(3) (x) による ・厚さ(mm) ・
断熱材（機械固定工法）種類 ※改修標準仕様書3. 5. 2(3) (x) による ・厚さ(mm) ・
固定金具の材質及び寸法形状 [3. 5. 2]※厚さ0.4mm以上で防錆処理した鋼板、ステンレス鋼板及びそれらの片面又は両面に樹脂を積層加工した鋼板
・
仕上り塗料塗り（S-F1工法、S-M1工法、SI-F1工法、SI-M1工法の場合） [3. 5. 3]・有り 種類（ ）
使用量（※製造所の仕様による ・）
絶縁用シート及び可塑性移行防止用シートの材質 [3. 5. 2]※発泡ポリエチレンシート ・ルーフィングシート製造所仕様による
一般部のルーフィングシートの張付け [3. 5. 4]機械的固定工法（建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法）
・適用する
既存防水下地がプレキャストコンクリート部材の場合の処理
目地処理 ・行う（工法 ・） ・行わない
入隅部の増張り ・行う（・図示 ・） ・行わない
保護モルタルの塗厚（屋内保護密着工法の場合） [3. 5. 3][表3. 5. 3]※7mm
防湿用フィルムの設置（SI-M1、SI-M2の場合） ・設置する ・設置しない [3. 5. 3]

[表3. 1. 1][3. 6. 3][表3. 6. 1][表3. 6. 2][表3. 6. 3]
防水改修工法の種類
新規防水層の種類
・POX工法※X-1・X-2・X-1H・X-2H
・L4X工法・X-1※X-2・X-1H・X-2H
・PIY工法※Y-2
・PIY工法
既存塗膜防水層表面の仕上げ塗装（L4X工法の場合） [3. 2. 6]・除去する
POX工法、L4X工法の仕上げ塗料塗り [3. 6. 3][表3. 6. 1][表3. 6. 2]・有り 種類（ ）
使用量（※製造所の仕様による ・）

シーリング改修工法の種類 [3. 1. 4][表3. 1. 2]・シーリング充填工法
・シーリング再充填工法
・拡幅シーリング再充填工法
・ブリッジ工法
シーリング材の種類、施工箇所 [3. 1. 4][3. 7. 2][表3. 7. 1]※被接着体に応じたものとし、改修標準仕様書表3. 7. 1を標準とする
・種類（ ） 施工箇所（ ）
シーリング材の目地寸法 [3. 7. 3]

箇所	幅(mm)	深さ(mm)
コナート打継ぎ目地、ひび割れ誘発目地	※20以上	※10以上
ガラス回りの目地	※5以上	※5以上
その他の場合	※10以上	※10以上

仕上げを行わない施工箇所（ ） [表3. 7. 1]ブリッジ工法 [3. 7. 7]ポンドブレーカー張り ・適用する
エッジング材張り ・適用する
接着性試験 [3. 7. 8]※簡易接着性試験 ・引張接着性試験（部位 ・）

といその他の材種等 ・図示（図面番号 ・） [3. 8. 2][表3. 8. 1]とい受金物
材種 ※溶融亜鉛めっきを行ったもの ・
形状 ※市販品（とい径100以下） ※25×4.5以上（とい径100を超えるもの）
取付け間隔 ※改修標準仕様書表3. 8. 2による
銅管製との防露 [3. 8. 3][表3. 8. 4]※行う（施工箇所 ※改修標準仕様書表3. 8. 4による ・）
縦どいの受け金物の取付け [3. 8. 3]
・
ルーフドレンの取付け [3. 8. 3]※水はけよく、床面より下げ、周囲の隙間にモルタル充填（モルタルの調合は、容積比でセメント1：砂3）

④ 外壁改修工事

10 アルミニウム製笠木

(コナート打直し仕上げ)1－1
ひび割れ部改修工法

・樹脂注入工法 [4. 1. 4][4. 2. 5]

工法の種類	注入口間隔(mm)	注入力 (mL/箇所)
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	※200～300	・
・手動式エポキシ樹脂注入工法	・	
・機械式エポキシ樹脂注入工法	・	

注入状況の確認方法 ※コア抜き取りを行う ・
抜取り個数 ※500mごと及びその端数につき1個 ・
抜取り部の補修方法（ ）
・Uカットシール材充填工法 [4. 1. 4][4. 2. 4]
材料 ・バテ状エポキシ樹脂 ・可とう性エポキシ樹脂
・シーリング材
種類 ※1成分形又は2成分形ポリウレタン系 ・
・可とう性エポキシ樹脂
・ポリマーセメントモルタル
工法
シーリング材のうえポリマーセメントモルタルの充填 ・行う
・シール工法
材料 ・パテ状エポキシ樹脂 ・可とう性エポキシ樹脂

・充填工法 [4. 1. 4][4. 2. 4]
材料 ・エポキシ樹脂モルタル ・ポリマーセメントモルタル

・樹脂注入工法 [4. 1. 4][4. 3. 5]

工法の種類	注入口間隔(mm)	注入力 (mL/箇所)
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	※200～300	・
・手動式エポキシ樹脂注入工法	・	
・機械式エポキシ樹脂注入工法	・	

注入状況の確認方法 ※コア抜き取りを行う ・
抜取り個数 ※500mごと及びその端数につき1個 ・
抜取り部の補修方法（ ）
・Uカットシール材充填工法 [4. 1. 4][4. 3. 5]
材料 ・シーリング材
種類 ※1成分形又は2成分形ポリウレタン系 ・
・可とう性エポキシ樹脂
・ポリマーセメントモルタル
工法
シーリング材のうえポリマーセメントモルタルの充填 ・行う
・

⑤

建具改修工事

15

軽量シャッター

シャッターケース ・ 設ける [5. 11. 2]

スラット及びシャッターケース用鋼板の種類 [5. 11. 3]

・ JIS G 3302 (溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯) [5. 11. 3] [表5. 11. 2]

・ JIS G 3312 (塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯)

めっき付着量 ※Z12又はF12 [5. 11. 3]

ガイドレール等のステンレス鋼板 [5. 11. 3]

※SUS304、 SUS430J1L、 SUS443J1 [5. 12. 2] [表5. 12. 1]

開閉機能による種類

※手動式 ・ 上部電動式 (手動併用)

耐風圧強度 [5. 12. 2]

急降下停止装置

スラット ・ 設置する [5. 12. 2]

材質 ・ JIS G 3312 (塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯) [5. 12. 3]

めっき付着量 ※Z06又はF06

・ JIS G 3322 (塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯)

めっき付着量 ※AZ90

形状 ・ インターロッキング形 ・ オーバーラッピング形 [5. 12. 4]

形式及び機構 [5. 13. 2] [5. 13. 3]

材料による区分

開閉方式による区分

収納形式による区分

ガイドレールの材質

※スチール材

※バランス式

・ スタンダード形 ※溶融亜鉛めっき鋼板

・ チェーン式

・ ローヘッド形

・ ステンレス鋼板

・ ハイリフト形

・ パーチカル形 [5. 13. 2]

耐風圧性能 (JIS A 4715による値)

・ 50 ・ 75 ・ 100 ・ 125

・ フロート板ガラス 品種 ・ 厚さ (mm) [5. 14. 2]

・ 型板ガラス [5. 14. 2]

厚さ (mm) ・ 2 ・ 3 ・ 4 ・ 6

・ 網入板ガラス及び繰入板ガラス [5. 14. 2]

網又は線の形状及び板の表面の状態による種類

呼び厚さ (mm)

網入板ガラス

網入型板

・ ひし網入型板ガラス ・ 6. 8

ガラス

・ 角網入型板ガラス ・ 6. 8

網入磨き

・ ひし網入磨き板ガラス ・ 6. 8 ・ 10

ガラス

・ 角網入磨き板ガラス ・ 6. 8

繰入板ガラス

・ 繰入型板ガラス ・ 6. 8

・ 繰入磨き板ガラス ・ 6. 8 ・ 10

・ 合わせガラス [5. 14. 2]

形状

特性による種類

材料板ガラスの種類、厚さ

合計厚 (mm)

・ 平面

・ I 類 ・ II-2類

〈ガラス種類 厚さ〉+ガラス種類 厚さ)+…+

・ II-1類 ・ III類

・ 曲面

・ I 類

〈ガラス種類 厚さ〉+ガラス種類 厚さ)+…+

・ 強化ガラス [5. 14. 2]

形状による種類

材料板ガラスの種類による名称

呼び厚 (mm)

特性による種類

・ 平面強化ガラス

・ 型板強化ガラス ※4 ・

・ I 類

・ フロート強化ガラス ・

・ III類

・ 熱線反射強化ガラス ・

・ 曲面強化ガラス

・ フロート強化ガラス ・

・ 熱線吸収板ガラス [5. 14. 2]

板ガラスの種類

厚さ (mm)

性能による種類

・ 熱線吸収フロート板ガラス ・

・ 1種 ・ 2種

・ 熱線吸収磨き板ガラス ・

・ 熱線吸収網入磨き板ガラス ※6. 8

・ 熱線吸収網入磨き板ガラス ・

・ 熱線吸収網入型板ガラス

・ 複層ガラス [5. 14. 2] [5. 14. 4]

断熱性に

日射取得性、

よる区分

日射熱遮蔽

材料板ガラスの種類、厚さ

厚さ (mm)

の種類

・ T1 ・ T2 ・ G

ガラス種類 厚さ)+ガラス種類 厚さ)+…+

・ T3 ・ T4 ・ S

ガラス種類 厚さ)+ガラス種類 厚さ)+…+

・ T5 ・ T6

・ 7kg/㎡

・ 空気

・ クリプトン

・ 珪素

・ 熱線反射板ガラス [5. 14. 2] [5. 14. 4]

材料板ガラスの種類

日射熱遮蔽性による区分

厚さ (mm)

・ フロート板ガラス

・ 1種

・ 6

・ 磨き板ガラス

・ 2種

・ 8

・ 熱線吸収フロート板ガラス

・ 3種

・ 10

・ 熱線吸収磨き板ガラス

・ 平面強化ガラス

・ 12

・ 熱線吸収網入型板ガラス

・ 倍強度ガラス [5. 14. 2]

材料板ガラスの種類

呼び厚 (mm)

・ フロート板ガラス

・ 6 ・ 8 ・ 10 ・ 12

・ 熱線吸収フロート板ガラス

・ 6 ・ 8 ・ 10 ・ 12

・ 磨き板ガラス

・ 6 ・ 8 ・ 10 ・ 12

・ 熱線吸収磨き板ガラス

・ 6 ・ 8 ・ 10 ・ 12

・ 熱線吸収網入型板ガラス

・ 熱線反射ガラス

・ 6 ・ 8 ・ 10 ・ 12

18

ガラス留め材

[5. 14. 2]

建具の種類

ガラス留め材

アルミニウム製

・ ガスケット

・ ガレージ用 特殊形状 (特異込み70mmの引違い、片引き障子の場合)

・ シーリング材 (SR-1) 引違い障子以外の部分に使用

樹脂製

・ ガスケット

鋼製

・ シーリング材 (SR-1)

ステンレス製

・ シーリング材 (SR-1)

板ガラスをはめ込む溝の大きさ [5. 14. 3] [図5. 14. 1]

※建具製作所の仕様による

[5. 14. 4]

ガラス端部で枠にのみ込まない部分の小口加工 ・ 図示 (図面番号)

19

ガラスブロック積み

ガラスブロック [5. 14. 5]

表面形状

色調

呼び寸法 (mm)

厚さ (mm)

・ 正方形

・ 125×125 ・ 160×160

・ 80 ・ 95 ・ 125

・ 200×200 ・ 320×320

・ 長方形

・ 250×125 ・ 320×160

壁用金属枠及び補強材 ・ 図示 (図面番号) [5. 14. 5]

力骨 [5. 14. 5]

材質

寸法 (mm)

形状

※ステンレス鋼 (SUS304)

※径5. 5

※はしご形状複筋及び単筋

化粧目地モルタルの色 [5. 14. 5]

シーリング材 [5. 14. 5] [表3. 7. 1]

※被着体に応じたものとし、改修標準仕様表3. 7. 1を標準とする。

・ 図示 (図面番号)

金属製化粧カバーの材質、寸法及び形状 [5. 14. 5]

・ 図示 (図面番号)

建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法 [5. 14. 5]

目地 [5. 14. 5]

平積み

目地幅

※8mm以上、15mm以下

曲面積み

※改修標準仕様書5. 14. 5 (2) (イ) (a) ②による

伸縮調整目地 [5. 14. 5]

位置

※改修標準仕様書5. 14. 5 (2) (イ) (b) による

目地部の横力骨の納まり

※ガラスブロック製造所の仕様による

20

内装改修工事

①

他の部位との取合い等

既存間仕切壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井、壁、床の改修範囲

※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う

天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲

※壁面から両側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う

既存天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修

※既存のまま

浮き、欠損部等による下地モルタルの撤去 ・ 行う [6. 2. 2]

合成樹脂塗床材の除去工法 [6. 2. 2]

・ 機械的除去工法 ・ 目荒し工法

②

既存床の撤去、下地補修

間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修

※改修標準仕様書4. 3. 10による

超自動機械かんな、サンダー等による場合

③

既存壁の撤去、下地補修

④

県産材木材

⑤

木材

⑥

製材

含水率 ※A種 ・ B種 (6. 5. 2) (表6. 5. 1)

(6. 5. 2の (2) から (6) まですで含水率が規定されているものはその規定による)

材料のホルムアルデヒド放散量

※6. 5. 2 (1) (イ) (a) 又は (b) ・

・ 「JAS 1083-5 (製材：下地用製材)」に基づく下地用製材 [6. 5. 2]

施工箇所

樹種

等級

寸法 (mm)

含水率

保存処理

・ 「JAS 1083-2」による造作用製材

施工箇所

樹種

等級

寸法 (mm)

含水率

保存処理

※A種 ・ B種 ・

※A種 ・ B種 ・

※A種 ・ B種 ・

※A種 ・ B種 ・

※A種 ・ B種 ・

※板類における等級は、枠、額縁、敷居、かまひ、かまの類の見え掛り面は上小節。それ以外は小節以上

7

造作用集成材

・ 「JAS 1083-6 (製材：広葉樹製材)」に基づく広葉樹製材

施工箇所

樹種

等級

寸法 (mm)

含水率

保存処理

※10%以下

・ A種 ・ B種 ・

・ 「JAS 1083 (製材)」以外の製材

施工箇所

樹種

寸法 (mm)

材面の品質

含水率

防虫処理

・ 造作材の場合 (※A種 ・ B種) ・

・ 造作材の場合 (※A種 ・ B種) ・

・ 造作材の場合 (※A種 ・ B種) ・

・ 造作材の場合 (※A種 ・ B種) ・

樹種 [6. 5. 2] [6. 5. 6] [6. 5. 7] [6. 5. 8] [6. 5. 9]

※標準仕様書6. 5. 6から6. 5. 9までによる。

木れんが、くさび類はひのき

込み栓等はかし、けやきの類の広葉樹

下地材の継手の添え板は下地材と同材

・ 「JAS 1152 (集成材)」に基づく造作用集成材

施工箇所

品名

樹種名

見付け材面

寸法 (mm)

見付け材面の品質

※1等 ・

※1等 ・

※1等 ・

・ 「JAS 1152 (集成材)」に基づく化粧ばり造作用集成材

施工箇所

品名

樹種名

化粧薄板の厚さ (mm)

見付け材面

寸法 (mm)

見付け材面の品質

化粧薄板：

芯材：

化粧薄板：

芯材：

化粧薄板：

芯材：

・ 「JAS 1152 (集成材)」以外の造作用集成材

施工箇所

樹種

寸法 (mm)

見付け材面の品質

含水率

※15%以下

・ 「JAS 1152 (集成材)」以外の化粧ばり造作用集成材

施工箇所

樹種

寸法 (mm)

化粧薄板の厚 (mm)

見付け材面の品質

含水率

化粧薄板：

芯材：

化粧薄板：

芯材：

化粧薄板：

芯材：

・ 「JAS 0701 (単板積層材)」による造作用単板積層材 [6. 5. 2]

施工箇所

品名

寸法

表面の品質 (表面の化粧加工)

防虫処理

・ 有り (加工： ・ 天然木化粧加工 ・ 塗装加工)

・ 適用

・ 無し (等級)

・ 有り (加工： ・ 天然木化粧加工 ・ 塗装加工)

・ 適用

・ 無し (等級)

8

造作用単板積層材

・ 「JAS 0701 (単板積層材)」以外の造作用単板積層材

施工箇所

寸法

表面の品質 (表面の化粧加工)

防虫処理

・ 有り (加工： ・ 天然木化粧加工 ・ 塗装加工)

・ 適用

・ 無し (等級)

・ 「JAS 0701 (単板積層材)」による造作用単板積層材 [6. 5. 2]

施工箇所

品名

寸法

表面の品質 (表面の化粧加工)

防虫処理

・ 有り (加工： ・ 天然木化粧加工 ・ 塗装加工)

・ 適用

・ 無し (等級)

9

直交集成板

・ 「JAS 3079 (直交集成板)」に基づく直交集成板 [6. 5. 2]

施工箇所

品名

強度等級

種別

接着性能 (使用環境)

樹種名

寸法 (mm)

・ 「JAS0233 (合板)」による普通合板 [6. 5. 2]

施工箇所

品名

厚さ (mm)

接着の程度

板面の品質

単板の樹種名

防虫処理

・ 広葉樹 ※2等以上 ・ 針葉樹 ※C-D以上 ・

※接着の程度は、常時湿潤状態となる場所に使用する場合は特類、その他の場合は1類以上

※等級は2級以上

※板面の品質はC-D以上

・ 「JAS 0233 (合板)」に規定する構造用合板

施工箇所

品名

厚さ (mm)

接着の程度

等級

板面の品質

単板の樹種名

保存処理

防虫処理

強度等級

・ 特類 ・ 1級 ・ C-D ・

・ 1類 ・ 2級 ・

※接着の程度は、常時湿潤状態となる場所に使用する場合は特類、その他の場合は1類以上

・ 「JAS0233 (合板)」に規定する天然木化粧合板

施工箇所

厚さ (mm)

接着の程度

化粧板に使用する単板の樹種名

防虫処理

・ 1類 ・ 2類

・ 適用 ()

・ 「JAS 0233 (合板)」に規定する特殊加工化粧合板

施工箇所

品名

厚さ (mm)

接着の程度

単板の樹種名

化粧加工の方法

防虫処理

・ 1類 ・ 2類

・ 適用 ()

化粧加工の方法 ・ オーバーレイ ・ プリント ・ 塗装

・ 「JIS A 5908」によるパーティクルボード

施工箇所

表裏面の状態

曲げ強さによる区分

耐水性による区分

難燃性による区分

厚さ (mm)

※1394P ・

・ 耐水性 1 (M47) ・ 耐水性 2 (P47) ・

※15 ・

・ 「JAS 0360」による構造用パネル

施工箇所

品名

厚さ (mm)

・ 「JIS A 5905」によるMDF

施工箇所

表裏面の状態

曲げ強さによる区分

接着剤

難燃性による区分

厚さ (mm)

Project Name

丹生川上園地 (公衆トイレ) 改修工事

Drawing Name

建築改修工事特記仕様書-4

Scale

Draw By

Checked By

Licensee&Name

Date

2026. 03. 27

No.

A-05

No. 166262

坂口 龍平

Architectural Designer's Co.,Ltd.

株式会社 ワー ル ド 設 計

A2 - R7年度 ver1. 0

⑦塗装改修工事

5 錆止め塗料塗り

⑦ 塗装改修工事

5 錆止め塗料塗り

[7. 4. 2][7. 4. 3]

錆止めの塗料塗りの種別

塗装面		塗料の種別		工程の種別		
鉄鋼面	S O P	塗替え	A s 種	※ C 種	・	
		新規見え掛り	A s 種	※ A 種	・	
		新規見え隠れ	A s 種	※ B 種	・	
	D P	塗替え	1 回目 C s 種	※ A 種		
		R A 種の場合	2-3 回目 D s 種			
		塗替え	E s 種	※ B 種	・	
E P - G	RC 種	※ C 種	・			
	新規	1 回目 C s 種	※ A 種	・		
		2-3 回目 D s 種				
E P - G		塗替え	・ A s 種	※ B s 種	※ C 種	・
	新規見え掛り			※ A 種	・	
	新規見え隠れ			※ B 種	・	
錆止めの塗装のまま	塗替え	A s 種	※ C 種	・		
		新規見え掛り	※ A 種	・		
		新規見え隠れ	※ B 種	・		
亜鉛めっき鋼面	S O P	新規鋼製建具等	※ A z 種	・ B z 種	※ A 種 (新規)	
			※ C 種 (塗り替え)			
		その他	・ A z 種	※ B z 種	※ C 種 (新規)	
	D P		※ C 種 (塗り替え)			
		E P - G	B z 種	全面に塗りつける		
			C z 種	※ A 種 (新規)		
その他	※ C 種 (塗り替え)					
		※ B 種 (新規)				
		※ C 種 (塗り替え)				

6 合成樹脂調合ペイント (S O P)

木部の合成樹脂調合ペイント塗り

[7. 5. 2][表7. 5. 1]

新規の場合	屋外	※ A 種	・ B 種	・ C 種
(多孔質広葉樹を除く)	屋内	・ A 種	※ B 種	・ C 種

塗替えの場合

・ A 種

※ B 種

・ C 種

鉄鋼面合成樹脂調合ペイント塗りの種別

[7. 5. 2][表7. 5. 2]

・ A 種

※ B 種

・ C 種

亜鉛めっき鋼面合成樹脂調合ペイント塗りの種別

[7. 5. 4][表7. 5. 3]

新規の場合	・ A 種	※ B 種	・ C 種
塗替えの場合	鋼製建具の場合	※ A 種	・ B 種
	その他	・ A 種	※ B 種
		・ C 種	

7 ｸﾗｯｸ-塗り (C L)

種別

・ A 種

※ B 種

[7. 6. 2][表7. 6. 1]

8 ｱｸﾘﾙ樹脂系非水分散形塗料塗り (N A D)

種別

・ A 種

※ B 種

[7. 7. 2][表7. 7. 1]

9 耐候性塗料塗り (D P)

鉄鋼面耐候性塗料塗り

[7. 8. 2][表7. 8. 1]

・上塗り塗料の等級 (※1 ・) 級

亜鉛めっき鋼面耐候性塗料塗り

[7. 8. 3][表7. 8. 2]

・上塗り塗料の等級 (※1 ・) 級

コンクリート面及び押出成形セメント板面耐候性塗料塗りの種別

[7. 8. 4][表7. 8. 3]

・ A-1 ・ A-2 ・ B-1 ・ B-2 ・ C-1 ・ C-2

10 つや有合成樹脂エﾏﾙｼｮﾝペイント塗り (E P - G)

コンクリート、押出成形セメント板、モルタル、プラスター、せっこうボード、その他ボード面のつや有合成樹脂エマルションペイント塗りの種別

[7. 9. 2][表7. 9. 1]

・ A 種

※ B 種

・ C 種

しみ止め (塗替えの場合)

[7. 9. 2]

※改修標準仕様書7. 9. 2. (2)による ・

屋内の木部つや有合成樹脂エマルションペイント塗りの種別

[7. 9. 3][表7. 9. 2]

新規 (多孔質広葉樹を除く) ※ A 種

・ B 種

・ C 種

塗替え ・ A 種

※ B 種

・ C 種

屋内の鉄鋼面のつや有合成樹脂エマルションペイント塗りの種別

[7. 9. 4][表7. 9. 3]

・ A 種

※ B 種

・ C 種

屋内の亜鉛めっき鋼面のつや有合成樹脂エマルションペイント塗りの種別

[7. 9. 5][表7. 9. 4]

※ A 種

・ B 種

・ C 種

11 合成樹脂エﾏﾙｼｮﾝペイント塗り (E P)

種別

・ A 種

※ B 種

・ C 種

[7. 10. 2][表7. 10. 1]

⑫ウレタン樹脂ワニス (U C)

種別

・ A 種

※ B 種

着色 ・適用する

[7. 11. 2][表7. 11. 1]

13 スティン塗り

・オイルスティン塗り (O S)

[7. 12. 2][表7. 12. 1]

既存塗料 ()

工程 ()

塗料 ()

塗付け量 ()

⑭木材保護塗料塗り (W P)

種別

・ A 種

※ B 種

[7. 13. 2][表7. 13. 1]

⑧環境配慮改修工事石綿処理

① 一般事項

建築設備に使用されている石綿含有材の処理

・行う ・行わない

除去後の仕上げ工事

[9. 1. 1]

・図示 (図面番号)

石綿粉じん濃度測定

・行う 測定対象工事 ()

・行わない

測定時期	測定場所	測定点		計
処理作業前	・処理作業室内	点	室	点
	・施工区画周辺又は敷地境界	点	室	点
処理作業中	・処理作業室内	点	室	点
	・セキュリティゾーン入口	点	室	点
処理作業後	・集じん・排気装置の排出口 (処理作業室外の場合)	点	室	点
	・施工区画周辺又は敷地境界	点	室	点
合 計				

・測定方法 ※位相差顕微鏡法

② 石綿作業主任者

※適用する

[9. 1. 2]

3 特別管理産業廃棄物管理責任者

※適用する

[9. 1. 2]

④ 表示及び掲示

※事前調査結果、作業内容を公衆及び労働者に見やすい場所に掲示すること (石綿含有仕上塗材除去に関して、労働基準監督署及び奈良県景観環境総合センター (奈良市においては奈良市保健・環境検査課) への届出は不要)

[9. 1. 2]

5 石綿含有吹付け材の除去

※負担隔離養生を行う

[9. 1. 1][9. 1. 3]

除去工法

※除去工法 ((一財)日本建築センター (BCJ) の審査証明 (写) 添付)

※除去工法 ((一財)日本建築総合試験所 (GBRC) 同等の建築技術性能証明書 (写) 添付)

・封じ込め処理 ()

・囲い込み処理 ()

除去した石綿含有吹付け材等の飛散防止措置

※湿潤化 ・固形化

保管場所 ()

除去した石綿含有吹付け材の処分

・埋立処分 (管理型最終処分場) ・中間処理 (熔融施設又は無害化処理施設)

6 石綿含有保温材等の除去

除去工法

[9. 1. 1][9. 1. 4]

・手ばらし (養生シート等を用いて隔離養生 (負担不要) を行う)

・切断又は粉砕して除去 (負担隔離養生を行う)

除去した石綿含有保温材等の飛散防止措置

※湿潤化 ・固形化

保管場所 ()

除去した石綿含有保温材等の処分

・埋立処分 (管理型最終処分場) ・中間処理 (熔融施設又は無害化処理施設)

7 石綿含有成形板等の除去

除去工法

[9. 1. 5]

※湿潤化のうえ、原形のまま、手ばらし

・切断、粉砕等 (養生シート等を用いて作業場所の周辺の養生を行う)

・ ()

保管場所 ()

除去した石綿含有成形板の処分

※石綿含有せっこうボードは管理型最終処分場で埋立処分する

・上記以外 (・埋立処分 ・中間処理)

⑧ 石綿含有仕上塗材の除去

除去工法

[9. 1. 6]

※建築物等の解体に係る石綿ばく露防止及び石綿飛散防止徹底マニュアル (令和6年2月版) による工法の作業手順に従い、施工すること。

※隔離養生 (・ ())

※湿潤化 (・ ())

・高圧水洗や剥離剤を用いる。

・電動工具を用いて除去作業を行う。

(養生シート等で作業場所の隔離養生 (負担不要) を行う)

除去した石綿含有仕上塗材の固形化

・行う

・行わない

汚泥として処理が必要な場合 (・ ())

除去した石綿含有仕上塗材の処分

・埋立処分 ・中間処理

⑨ 石綿含有材の箇所

※仕上表及び図面の建材表示の前に▲を付したものの

※石綿含有の有無は、目視及び設計図書等によるものである。

9 特別管理産業廃棄物の処理

1 一般事項

分析調査

[5. 4. 1]

微量 P C B

・行う (分析箇所: 箇所)

・行わない

P C B 含有シーリング

・行う (分析箇所: 箇所)

・行わない

ダイオキシンのサンプリング調査

・行う (調査箇所: 箇所)

・行わない

2 特別管理産業廃棄物の処分等

特別管理産業廃棄物

[5. 4. 1]

種類	処分 (処理) 方法
・廃石綿等	改修工事標準仕様書9章1節[石綿含有建材の除去工事]による。
・PCBを含む機器類	保管 (保管場所:)
	保管容器は別図による (図面番号:)
・PCB含有シーリング材	保管 (保管場所:)
・廃油	・焼却処分
	・中間処理施設再生処理
・廃酸・廃アルカリ	製造業者又は専門業者 (回収委託)
	・中和処理
	・焼却処分
	・中間処理施設再生処理
・ダイオキシン類	解体方法 ()
	処分方法 ()

1 施工計画調査

分析調査

[7. 1. 3]

・行う ・行わない

※調査結果を書面で監督員に報告する。

2 特殊な建設副産物の処理等

[7. 3. 1]

種類	処分 (処理方法)
・フロン	※登録回収業者 (回収委託)
・ハロン	※設備設置業者 (処理委託)
・イオン化式感知器	※製造業者等 (処理委託)
・六ふっ化硫黄 (SF ₆) ガス	※製造業者 (処理委託)
・ P F O S	※処理業者 (処理委託)
・特定化学物質	※処理業者 (処理委託)
・特別管理産業廃棄物等	別図による (図面番号)
リスト	

10 特殊な建設副産物の処理

* 建築材料表 (以下のものは、評価名簿による)

種類	標準仕様書
・床型枠用鋼製デッキプレート (フラットデッキ)	(6. 8)
・鉄骨柱下無収縮モルタル	(7. 2)
・無収縮グラウト材 (・プレミックス形・現場調合形)	[8. 2]
・押出成形セメント板	(8. 5)
・成形伸縮目地材	(9. 2)
・乾式保護材 (防水立上り部)	(9. 2)
・セラミックタイル	(11. 2-3-4)
(・AⅡ (押出成形Ⅱ類)、・BⅠ (プレス成形Ⅰ類)、・BⅡ (プレス成形Ⅱ類)、・BⅢ (プレス成形Ⅲ類))	
・既調合モルタル (タイル工用)	(11. 2)
・既調合目地材	(11. 2)
・ルーフドレン	(13. 5)
・吸水調整材 (モルタル用)	(15. 3)
・防水剤	(15. 3)
・アルミニウム製建具 (・A種、・B種、・C種)	(16. 2)
・樹脂製建具 (B種)	(16. 3)
・鋼製建具	(16. 4)
・鋼製軽量建具	(16. 5)
・ステンレス製建具	(16. 6)
・錠前類	(16. 8)
(シリンダー箱錠 (・シリンダー箱錠ノ・レバーハンドル) 、 ・シリンダー本締り錠)	
・クローザー類	(16. 8)
(ドアクローザー (・Grade1ノ・Grade2)、・ヒンジクローザー、フロアヒンジ (・Grade1ノ・Grade2))	
・自動扉機構 (・駆動装置、・検出装置、・多機能トイレ用駆動装置)	(16. 9)
・自閉式上吊り引戸機構 (手動開き式)	(16. 10)
・重量シャッター	(16. 11)
・軽量シャッター	(16. 12)
・オーバーヘッドドア	(16. 13)
・ガラス	(16. 14)
(・フロート板ガラス、・型板ガラス、・網入板ガラス及び線入板ガラス、・熱線吸収板ガラス、・倍強度ガラス、・熱線反射ガラス)	
・現場発泡断熱材	(19. 9)
・フリースアクセスフロア (・3000Nノ・5000N)	(20. 2)
・可動間仕切	(20. 2)
・移動間仕切 (スライディングドア)	(20. 2)
・トイレブース	(20. 2)
・煙突用成形ライニング材	(20. 2)
・天井点検口	
・床点検口	
・グレーチング	(21. 2)
・屋上緑化システム (板状成形品タイプ)	(23. 5)
・屋上緑化軽量システム	(23. 5) [9. 4]
・トップライト	
・ポリマーセメントモルタル	[4. 2]
・錆鉄製ふた (マンホールふた 弁掛ふた)	
・	
・	
・	

() は公共建築工事標準仕様書、[] は公共建築改修工事標準仕様書の章節番号を示す

* 建築材料等参考表 (材料評価名簿材料を除く)

建築材料	製造者名、型名

Project Name

丹生川上園地 (公衆トイレ) 改修工事

Drawing Name

No

建築改修工事特記仕様書-6

A-07

Scale

Draw By

Checked By

Licence&Name

一級建築士

No. 166262

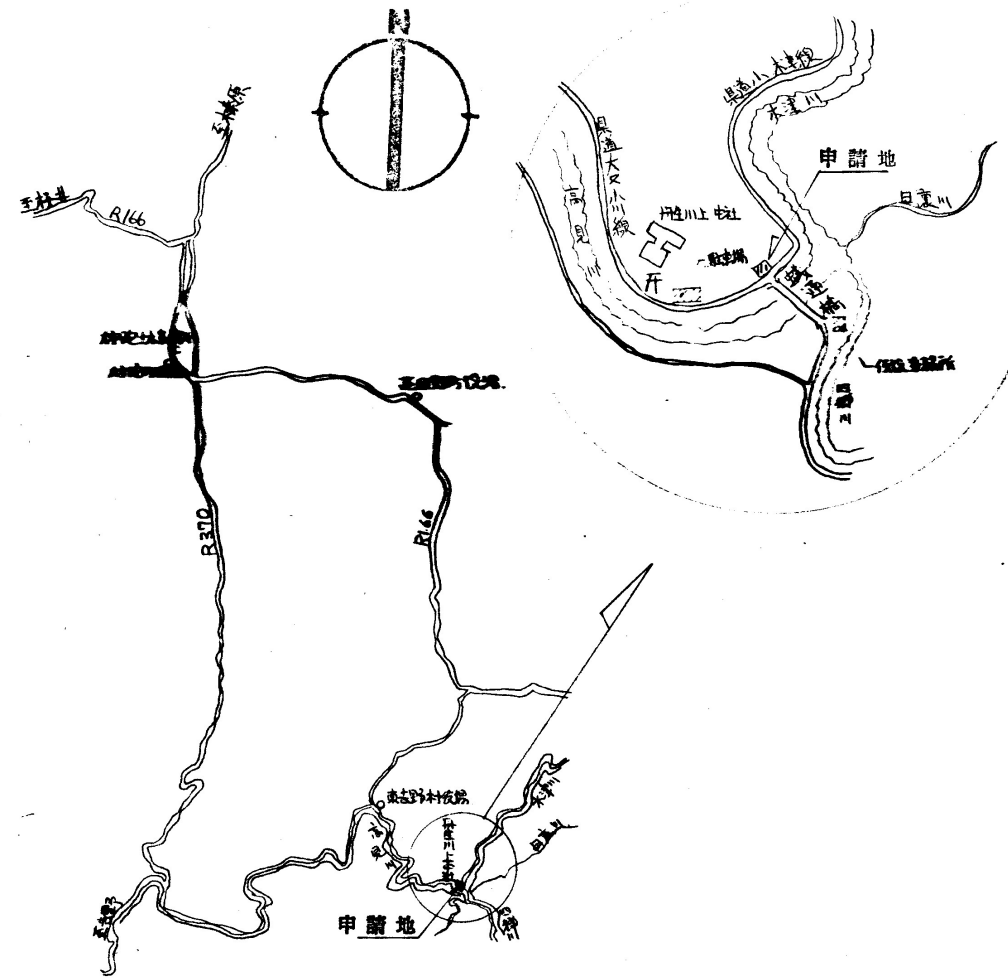
Date

2026. 03. 27

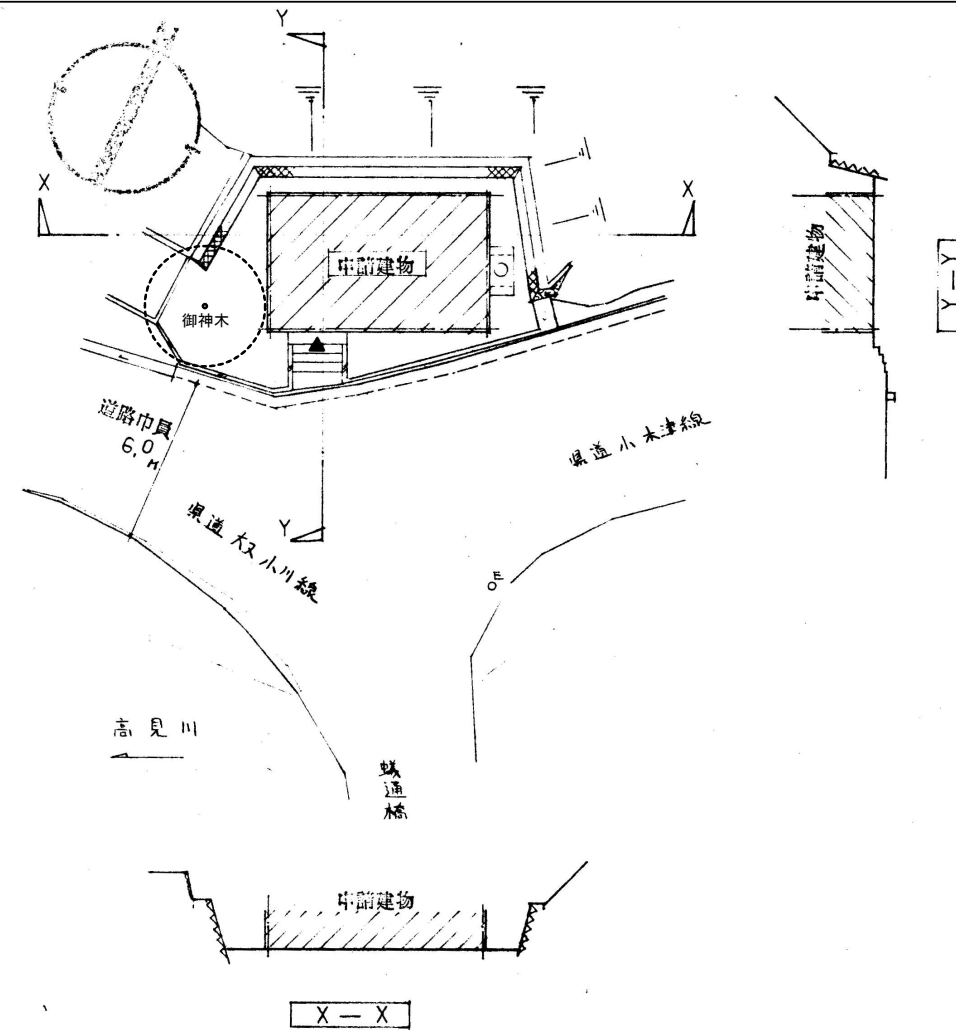
坂口 龍平

 Architectural Designer's Co., Ltd.
株式会社ワールド設計

A2 - R7年度ver1. 0

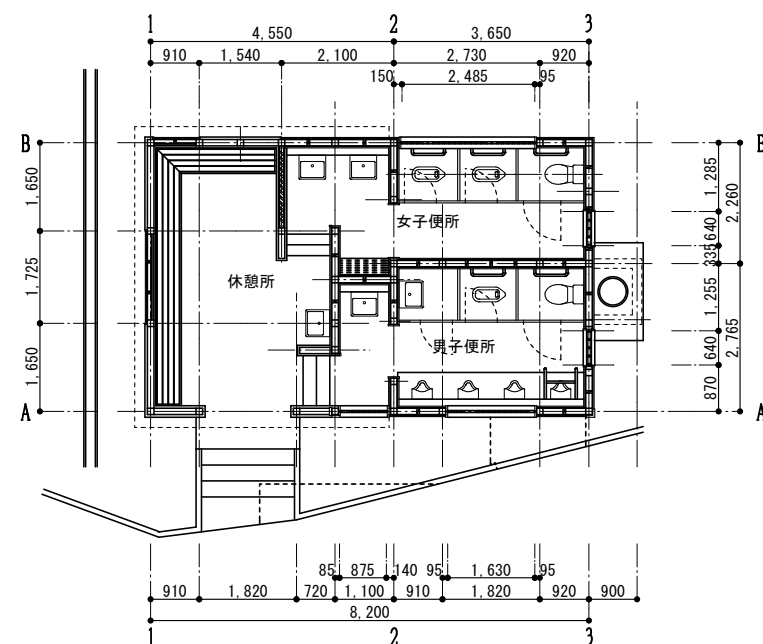


附近見取図 S=1/100,000

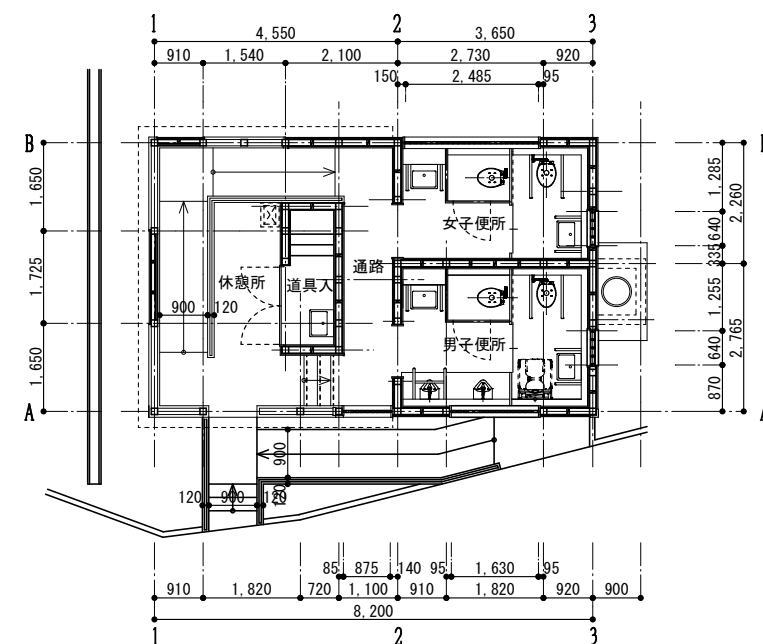


[配置図 1:200]

※工事に際し西側にある雑木の枝打ちが必要。
(最小限にとどめること)
なお、御神木の枝打ちは不可とする。



現況図



改修図

<工事内容>
・和式便所の洋式化、簡易水洗化
・バリアフリー化
・手洗い器の自動水洗化
・照明器具のLED化(人感センサー方式)
・屋根の葺き替え工事
・上記に伴う内装改修

外部仕上げ表

屋根	現況	日本瓦葺(いぶし、新みがき) 一文字葺 4、5寸勾配 棟：ノシ瓦三段 丸瓦 鬼瓦：カエズ型 一部 ガラス瓦(開口 850×850) 化粧野地板(杉上小節)厚15の上 アスファルトルーフィング 22kg 化粧垂木(桧 上小節) 55×75
	改修	瓦、アスファルトルーフィング撤去 アスファルトルーフィング 22kgの上、日本瓦葺(いぶし、新みがき) 一文字葺、棟、鬼瓦、ガラス瓦 葺き替え
軒天	現況	化粧垂木(桧 上小節) 55×75 化粧野地板(杉上小節)厚15
	改修	キシラデコール塗り
庇	現況	日本瓦葺(いぶし、新みがき) 一文字葺 2、5寸勾配 ノシ瓦2段、化粧垂木 40×55、化粧野地板 厚15 杉板、水切：銅板 厚0.3
	改修	瓦、アスファルトルーフィング撤去 アスファルトルーフィング 22kgの上、日本瓦葺(いぶし、新みがき) 一文字葺、棟、鬼瓦、ガラス瓦 葺き替え
外壁	現況	ラスモルタル 厚25の上、アクリル系リシン吹付 ▲※アクリル系リシン吹付とは、明研化学工業 マイルドプラスターとする ラワン合板(タイプⅠ 完全耐水) 厚12の上、アスファルトルーフィング 17kg
	改修	—
腰壁	現況	アスファルトルーフィング 17kgの上、焼杉板 厚10 タテ張り 胴縁 40×40 タテ、ヨコ共
	改修	西面のみ、アスファルトルーフィング、焼杉板撤去後、 アスファルトルーフィング 17kgの上、焼杉板 厚10 タテ張り 張替 キシラデコール塗り
巾木	現況	防水モルタル金コテ押え 一部 洗い出し仕上げ
	改修	高圧洗浄
外構	現況	犬走：コンクリート金コテ押え 厚100 排水溝：PU-180 集水桝：350角 × 500H(グレーチング枠付) 細目 T-2 既設擁壁：洗い出し仕上げ(丸砂利)
	改修	階段、擁壁撤去 階段、スロープ新設(床：磁器質タイル 100角貼り) スロープ部分、雨水排水ます・グレーチング撤去の上、入替(歩行用PCふた)

※工事に際し西側にある雑木の枝打ちが必要。(最小限にとどめること)

※ガラス瓦：ホウケイ酸ガラス 室外側 平滑、室内側 型模様

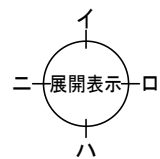
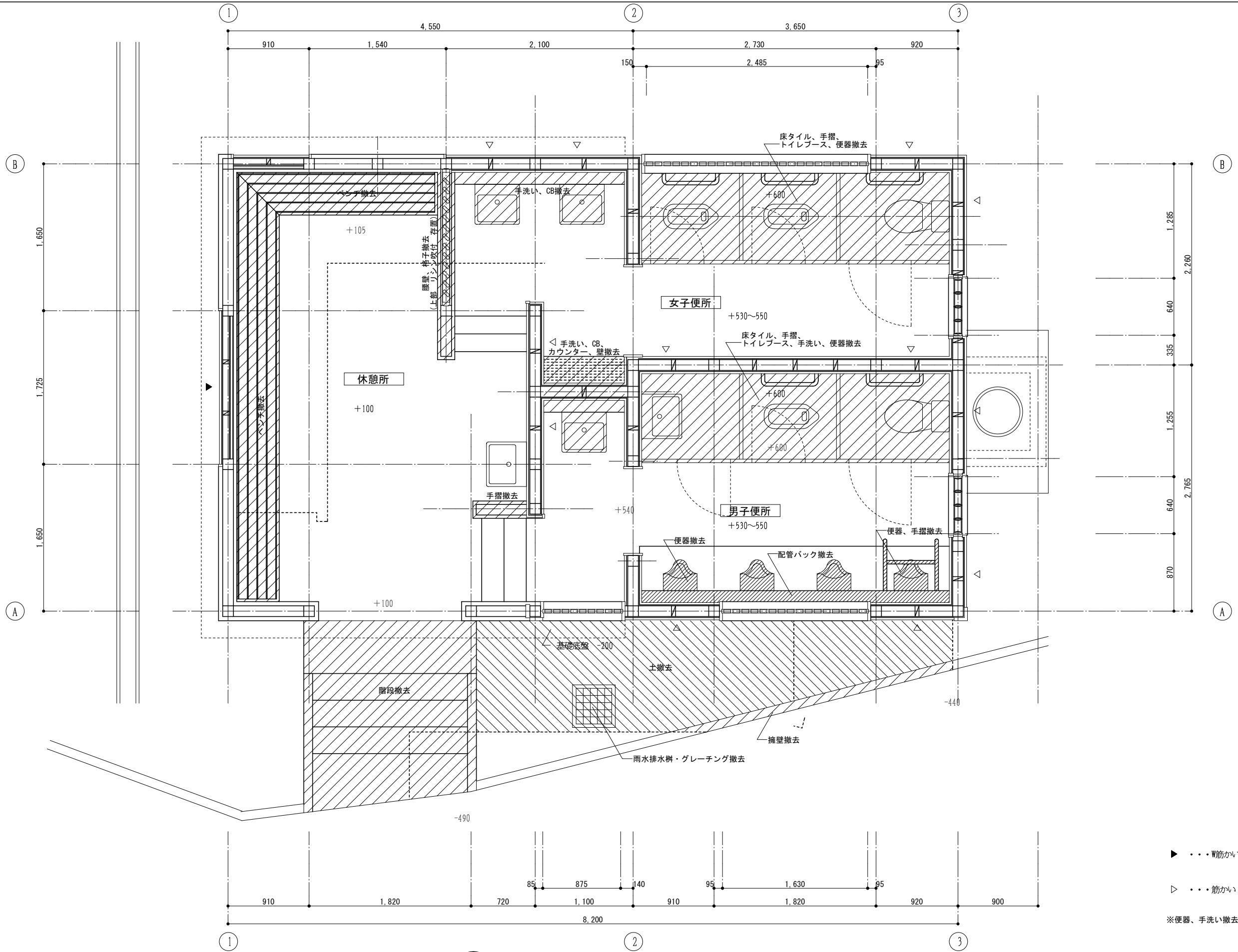
内部仕上げ表

	室名	床	壁	天井	備考
現況	休憩所	磁器質タイル100角貼り 巾木：モルタル金コテ押え H200	ラスモルタル 厚25の上リシン吹付▲+ラワン合板 厚12 腰：桧フローリング 厚12 ヨコ張り、一部 杉板	屋根裏化粧のまま	
改修	休憩所	現況のまま	現況のまま	—	
	スロープ	かさ上げコンクリートの上、磁器質タイル100角貼り	新設壁：ラスモルタル 厚25の上リシン吹付+ラワン合板 厚12		
	道具入	現況のまま(壁下、立上りH200基礎)	一部、タイル撤去後、腰板(桧フローリング 厚12 ヨコ)張り		
現況	男子便所	磁器質タイル100角貼り 一部、白ミカゲ石 厚25 W500 本ミガキ仕上	ラスモルタル 厚25の上リシン吹付▲+ラワン合板 厚12 腰：半磁器タイル100角貼り H1300	屋根裏化粧のまま	ステンレス手すり TOTO T110BU1(小便器前) ステンレス手すり TOTO T110BM3
改修	男子便所	現況の上に、磁器質タイル100角重ね貼り	現況のまま	—	洗面器用ステンレス手摺 2か所、大便器用ステンレス手摺 1組
	通路	一部、現況タイル撤去後、磁器質タイル100角貼り 小便器前：汚垂石(御影石 厚15)	配管バック：木下地、構造用合板厚9の上、半磁器タイル100角貼り		小便器用ステンレス手摺 1か所 おむつ交換台 1か所 【設備工事】化粧鏡
現況	女子便所	磁器質タイル100角貼り	ラスモルタル 厚25の上リシン吹付▲+ラワン合板 厚12 腰：半磁器タイル100角貼り H1000	屋根裏化粧のまま	ステンレス手すり TOTO T110BM3
改修	女子便所	現況の上に、磁器質タイル100角重ね貼り	現況のまま	—	洗面器用ステンレス手摺 2か所
	通路	一部、現況タイル撤去後、磁器質タイル100角貼り	配管バック：木下地、構造用合板厚9の上、半磁器タイル100角貼り		大便器用ステンレス手摺 1組 【設備工事】化粧鏡
現況	汚水ピット	自閉性樹脂モルタル B-4工法 (大関化学工業 責任施工)	自閉性樹脂モルタル B-4工法 (大関化学工業 責任施工)		
改修	汚水ピット	汚泥引き抜きの上、高圧洗浄、簡易消毒 (洗浄水引抜含む)	高圧洗浄、簡易消毒		

※内部、表し木部：梁見切り下端より下部、ウレタン塗装

略語

①	地盤・床レベルを示す	CO	コンクリート	RG	ラワン合板	GB	石膏ボード	FK	ケイ酸カルシウム板	AW	アルミ製窓	AP	アクリルビニール	吹付	複層塗材	UE	ウレタン樹脂ペイント	HT	ハイテク(衛生器具)
②	厚み・高さを示す	MO	モルタル	KG	構造用合板	GB(S)	シーリング石膏ボード	DR	ロックウール化粧板	AD	アルミ製ドア	FL	フローリング			CL	クリアラッカー	SB	システマ収納ボックス
▲	75以上の含有の恐れのある建材	CB	コンクリートブロック	SG	シタ合板	GB(T)	化粧石膏ボード(トラバチ模様)	ST	システム造作材	WD	木製ドア	F	型板ガラス	EP	合成樹脂エポキシペイント	OS	オスレン	FV	フラッシュバルブ
[建標]	建築工事標準詳細図 (数値は分類番号を示す)	AS	アスファルト	TZ	タタラブロック	GB(L)	石膏ボード	LGS	軽量鉄骨	WW	木製窓	FW	網入型板ガラス	EPG	艶有合成樹脂エポキシペイント	WP	木材保護塗料	PH	ペーパーホールド
		IN	インナーキング	ZD	人工大理石					TB	トリプルガラス	PW	網入磨板ガラス	VP	塩化ビニル樹脂フィルム	1-UC	1液型シリコン樹脂ワニス		



▶ ... W筋かい
▷ ... 筋かい 120×30
※便器、手洗い撤去：設備工事

